

# コロナで認知症進行

## 介護サービス制限が影響か

### 当事者団体調査

新型コロナウイルス感染症拡大が認知症の人に与えた影響について家族や介護職員にたずねたところ、認知症が進んだり身体機能が低下したりと答えた人が、半数以上の58%に上りました。介護保険サービス

の利用を減らしたり中止・変更した人も、過半数の52%を占めました。コロナ禍で介護サービスの利用を制限されたことが、機能の低下につながったものともみられます。

者連絡会議が2022年2月～4月に家族や介護職員にインターネットでアンケート調査、288人が回答しました(8月公表)。

心身への影響は「認知症の程度が進むなど影響があった」32%、「心身機能の低下(認知症以外)」の状態が悪化した」26%でした。

介護保険サービスの利用の状況(複数回答)をたずねると、「サービス利用を減らした時期がある/今も減らしている」が26%にのぼり、「種類を変更した」は11%、「利用を中止した」は2%でした。

変更したサービスの種類は「デイサービス」が29%、「ショートステイ」が10%。理由は「感染まん延により事業所が閉鎖、利用の制限が行われた」が最も多い23%(複数回答)でした。「施設から認知症の状況により断られた」「ケースも6%ありました。一方、利用する側が感染を恐れ利用を控えたとの回答も15%ありました。

自由記述欄には「家族らが直面した困難が綴られています。」「受け入れ病院がなく1/2半待つて入院したが死亡した」「本人が陰性でも介護家族の発熱を理由に介護サービスが利用できず途方に暮れた」「微熱でもショートステイが利用できない」「マスクが装着できずデイサービスから利用控えの依頼があった」「2020年の緊急事態宣言以来、ずっと面会できていない」などです。

同団体ではアンケートを踏まえ、介護家族の体調不良時の支援策や介護サービス中断を最小限にする方策などを厚生労働省に要望する予定です。